

★ボランティア活動★（コース委員会主催）

「目立ち過ぎて、吸い寄せられそう！！」 OB 杭 60 本を交換。女子中学生 2 人も汗を流し。

コース委員会（早坂幸治委員長）は 8 月 22 日、ボランティア活動としてコース内の OB 杭の点検、交換作業を行った。作業には中学 1 年生の女子ジュニア 2 人も参加、降ったり止んだりのあいにくの天気だったが、北、南コースの杭 60 本を新品と交換した。同委員会では今回は老朽のひどいものだけを交換したが、今後は全杭の交換を目指したいとしている。

同日午前 9 時半に集合、緑川文雄キャプテン（競技委員長）のあいさつ早坂委員長の作業内容の説明の後、9 人が 3 台のカートに分乗して北 1 番ホールから杭の点検に入った。前後の杭が見通せるかどうかをチェック、ツツジなどの枝の成長で、バックスイングが出来ない位置にあるものは前に出し、腐食がひどいものは新品と交換した。

女子ジュニアで参加してくれたのは三島中 1 年・田中澄南里さん、矢板中 1 年の斎藤あいさん。打ち替えた 60 本の杭の根元に砂を入れ、周りを整地してくれた。田中さんが 8 月に行われたジュニアの大会に出場した際に、クラブハウスに張り出されていたポスターを見て興味を持ち、斎藤さんを誘って参加したという。

田中さんは 240 ヤードを飛ばすヒッターで、70 台後半から 80 台前半のスコア、再騰さんは本格的にゴルフに取り組んでから 1 年だが、100 を打つことはない。斎藤さんの父親は、丸山茂樹プロの専属キャディーを務め、現在は女子の申ジプロに帯同している。2 人とも栃木国体の代表を密かにねらっている。

作業は昼食をはさんで午後 2 時半ごろまでかかったが、休憩時には小雨をものともせず、練習グリーンでパッティングに取り組んでいた。作業終了後に御褒美としてプレー券がプレゼントされ、「練習に役立てます」と話していた。

これまでの OB 杭は木製だったが、交換杭はプラスチック製で、耐久性は半永久的。その白さが緑に映えて、コースのイメージがぐんとアップした。

①



②



写真 ①緑川キャプテンと斎藤さん（左）と田中さん

②白杭の交換作業に汗を流す、田中さん（左）と斎藤さん



ヤーデージブックを制作、販売。 プロ並みの戦略に必携。

株式会社塩原ゴルフクラブ（堀越三津夫社長）は、国体女子競技に使用される北・南コースについて、ヤーデージブックを制作する。すでに、専門業者に発注と専門家による計測作業を終え、来年早々には完成し販売される。

制作に当たるのは茨城・水戸に拠点を置く「ザ・ゴルフメモ」（ジョー・エドワード代表）。9月1日から4日間にわたり、エドワード代表によって北、南の18ホールの計測が終了し編集作業に入っている。

ヤーデージブックにはティーグラウンド、グリーンからの距離、バンカーの位置、バンカーからグリーンまでの距離、グリーン面の傾斜、樹木、障害物などの位置など、プレーに必要なコース内のあらゆる情報が盛り込まれる。競技ゴルフのプレーヤーには必携品で、国体開催を前に制作することになった。

計測初日には、緑川文雄キャプテン、早坂幸治コース委員長、堀越社長が立ち会い、フェアウェイの中心線を確定し、距離を計測、グリーンの中心点を特定、傾斜などを計測する手順を確認した。ヤーデージブックは年明けには完成する予定で、メンバー、ビジターを問わず販売する。



←左からジョー・エドワード社長、
緑川文雄キャプテン、早坂幸司コース委員長、堀越社長





第8回とちテレゴルフカップ in 塩原 CC (9月12日開催)

当クラブにおいて、栃木テレビ主催とちテレカップ9月予選会が開催された。参加人数は、総勢83名。天候にも恵まれ、決勝出場資格獲得を目指した戦いとなりました。

— 試合結果 —

順位	氏 名	GROSS	HD	NET
1	永野 敏彦	82	13.2	68.8
2	川股 賢次	88	18.0	70.0
3	谷口 幸一	90	19.2	70.8
4	松本 吉行	76	4.8	71.2
5	小堀 弘之	86	14.4	71.6
6	吉松 孝文	89	16.8	72.2
7	魚本 俊晴	95	22.8	72.2
8	星井田 敬	94	21.6	72.4
9	印南 智久	93	20.4	72.6
10	皆川 雅文	93	20.4	72.6



(パーティー会場風景)



那須の小天狗…小針春芳伝 ②

井上 安正

那須の小天狗・小針春芳は1921（大正10）年4月29日、当時の那須郡高林村青木（現在の那須塩原市青木）で、兄弟八人（男五人、女三人）の長男として生まれた。先祖は青木農場への入植者で、養蚕の指導者的家系だったと思われる。黒磯から板室街道を板室方面に進むと、青木郵便局前に十字路がある。那須疎水とそれに沿って走る百村道路が交わっているが、十字路を左折し約300mほど行った左手に「養蚕場（ヨウサンバ）」という屋号の農家があり、そこが春芳少年の生家である。

那須疎水1885（明治18）年に、わずか五か月間で開削され、1905（明38）年までに、疎水網全域の水門、導水路などが完全に整備され、那須野が原全体に農業用水がもたらされた。それを見越して、那須野が原に華族の手で農場が次々と開かれた。1881（明治14）年に陸軍大臣・大山巖と西郷従道の「加治屋開墾場」、外務大臣・青木周蔵の「青木農場」、1885（明治18）年に旧豊浦藩主・毛利元敏の「毛利農場」、1887（明治20）年には、旧大垣藩主・戸田氏の「戸田農場」が開かれた。これらの農場にちなんだ地名が、今でも那須野が原のそこそこに残っている。青木周蔵は1844（天保15）年、長門国厚狭郡田村（現・山口県山陽小野田市）で、長州藩の村医・三浦玄仲の長男として生まれた。22歳の時、宮廷大御医・青木研蔵の養子となって士族となり、ドイツ留学の後ドイツ公使、外務大臣、アメリカ大使などを歴任した。

青木郵便局前からさらに板室方面に進むと、右手に道の駅「明治の森黒磯」があり、その東側に白い三階建ての青木那須別邸が建つ。青木が1888（明治22）年に建てたもので、設計は七十七銀行本店などを設計した、松ヶ崎萬長（つむなが）による。50m程北東にあったものを移築、復元され、「とちぎ明治の森記念館」として一般公開されている。

青木は外務官僚を退官した後、1914（大正3）年に亡くなるまで、ほとんどを妻・エリザベートと娘・ハナとここで暮らした。この世を去った青木の遺体は、別邸の近くに葬られ、墓が建てられた。妻・エリザベートは翌年、第一次大戦が勃発したため娘・ハナとともにドイツに帰ったが、青木の墓に並ぶように記念碑がある。昭和になってからも、周蔵の命日には、村民や小学校の上級生までが、着物に羽織、女子は着物にお揃いの袴姿で、別邸の玄関前で、当主の話聞き、全員で墓参りをした。青木家からは、親たちには折箱、児童には饅頭が配られた。

春芳少年は周蔵が入植者の子弟教育のために創設した、栃木県内で足尾銅山の足尾尋常高等小学校に次いで二校目の私立学校だった青木尋常小学校に入った。青木尋常小学校は高等科（二年制）がなかったから、黒磯町内に寄留の形にして、黒磯町立黒磯尋常高等小学校に転入し、1936（昭和11）年3月、黒磯尋常高等小学校の高等科を巣立った。

春芳少年は機関士に憧れ、国鉄の試験を受けた。福島・白河市で行われた筆記試験に合格し栃木・宇都宮市での口頭試問に臨んだが、身体検査で「色弱」と判定され不合格となった。色覚検査表のうち、正しく答えられたのは、「一枚目だけだった」という。小針はプロになった後、自分の色弱の程度についてこう語っている。

「緑と赤を見分ける力が弱かった。たとえば、緑の背景に赤く塗った赤丸があると、赤が緑にとけ込んで識別できない。至近距離なら何とかあったが、離れるとだめ。ただ、赤に白で縁取りされたり、赤と白のまだらだったたりしていれば、そこに緑とは別のものがあることはわかる。だから、グリー上のピンフラッグは見分けることが出来た」

春芳少年の失意は深かったが、光明が全くなかったわけではない。茶臼岳の山裾に、雪が融けてしばらくすれば、ゴルフ場が完成することになっていた。そこがキャディーを募集すると知った。

（つづく）



県勢初の全国制覇をもたらす。当クラブの加藤さん、石井さんら。

— 日本スポーツマスターズ 2019 —

日本スポーツマスターズ 2019 ぎふ清流全国大会ゴルフ競技（9月12・13日、岐阜愛岐CC）で、当クラブの加藤仁美、石井益子、鹿沼CCメンバーの角田里子さんの本県女子代表がトータル314で二位の北海道に1打差で初優勝を飾った。本県勢としても初の全国制覇だった。

この大会は1チーム3人で全国47都道府県代表が5969ヤード、パー72のコースで上位2人の2日間トータル（上位2人）で争われた。初日は加藤、角田さんが共に76 合計152でトップに立ち、2日目は難しいセッティングに苦しめられたが、加藤、角田さんが共に81の合計162としのぎ、トータル314で北海道に1打差で持ちこたえ初の栄冠を手にした。石井さんは初日87、2日目91だった。

キャプテンを務めた加藤さんは「力を出し合えば結果はついてくると信じていた。この優勝で新たな目標が出来、もちろん連覇をねらいます。」とインタビューに答えていた。



塩原カントリークラブ！攻略編！！ — 中里 鉄也プロ — 写真は加藤、角田、石井さん（左から）

塩原で最も標高が高い北コース3番ティーグラウンド。最も低い南コース5番ティーグラウンド。何と！80メートルも高低差があるんです。ゴルフ場開場から50年が経ち、今現在でもやすと山から目があるように言われていますが、ゴルフ場自体がかなりの高低差です。北・中・南とその高低差に騙されてしまい、グリーンのアンジュレーションを読みにくくしているのです。従って、ゴルフ場全体の傾斜が！何処に居ても理解できたなら、塩原カントリークラブを苦しまず、楽しめるのだと思います。



次号は、北コースを紹介します!!



—— 編集後記 ——

メンバーの方々にお約束したように、「Web会報 塩原」(VoL2)をお届けします。

評伝を連載中の本県初のプロ・故小針春芳さんが旅立ったのは今年4月。小針さんは「日本から早く世界メジャーの勝者を」と言っていたと聞きましたが、ご本人が逝った年に、女子ではありますが、渋野日向子が全英女子オープンをものにしたのは何かの因縁でしょうか。身近に目を移すと、日本スポーツマスターズ大会で、当クラブ2人らの県代表が県勢として初の全国制覇を成し遂げたのもこのうえない慶事です。

2022年に国体女子ゴルフ競技の会場となっている塩原カントリークラブにとって、全国区の注目度を呼びよせる吉兆と喜び合いたいと思っています。

井上 安正

